

I 調査概要

I 調査概要

1：調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2：調査の内容

[18歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査

- (1) 回答者の属性
- (2) 地域活動・生涯学習について
- (3) 公共交通機関・耐震改修について
- (4) 自転車の利用について
- (5) 食品ロス・フードドライブについて

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査

- (1) 回答者の属性
- (2) スポーツ・文化活動について
- (3) バリアフリー・福祉施策などについて
- (4) 通院・喫煙について

③産業分野の調査

- (1) 回答者の属性
- (2) 普段の買い物について

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]

- (1) 回答者の属性
- (2) 子育ての相談相手などについて
- (3) 子育ての環境や支援などについて

3：調査設計

(1) 調査地域 大田区全域

(2) 調査対象 [18歳以上の区民の方が対象]

大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]

大田区内に居住する12歳以下の子どもがいる世帯の保護者の方（外国人を含む）

(3) 標本数 [18歳以上の区民の方が対象]

上記「2：調査内容」の①～③の各調査：2,000人

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：2,000人

(4) 抽出方法 層化無作為抽出法

(5) 調査方法 配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式

(18歳以上の区民の方が対象③産業分野の調査は郵送方式)

(6) 有効回収数

[18歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査：797件（郵送661件＋電子申請136件）

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査：858件（郵送741件＋電子申請117件）

③産業分野の調査：669件（郵送669件）

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：1,252件（郵送1,024件＋電子申請228件）

(7) 有効回収率 [18歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査：39.9%

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査：42.9%

③産業分野の調査：33.5%

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：62.6%

4：報告書の見方について

(1) 結果の数値は原則として回答率（%）で表記している。回答率（%）は、その質問項目に該当する回答者の数を出しており、『n=』と表記している。また、複数回答についても回答者の数としているため、合計しても100.0%とならない場合がある。

(2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、各回答率（%）を合計しても100.0%とならない場合がある。

(3) 分析の軸（＝縦軸）としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの回答者の合計が全体と一致しない場合がある。

(4) 回答者数が30人未満と少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

(5) 年代別において、男女ともに「18～19歳」は回答者が少ないため、「10・20代」とまとめて掲載している。

(6) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

5：標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準偏差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団の大きさ
n：回答者数
p：回答の比率（%）

各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度 95%で算出している）

回答の比率 (P) 回答者数 (n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,252	±1.7	±2.3	±2.6	±2.8	±2.8
1,000	±1.9	±2.5	±2.9	±3.1	±3.2
858	±2.1	±2.7	±3.1	±3.3	±3.4
797	±2.1	±2.8	±3.2	±3.5	±3.5
669	±2.3	±3.1	±3.5	±3.8	±3.9
500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5

早見表の見方

たとえば、今回の「18歳以上の区民の方が対象①地域力・まちづくり・環境分野などの調査」の回答者数（858人）を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民（区内在住の18歳以上の方）のこの質問に対する回答は、46.6%～53.4%の間にあると考えられる。